

臨床工学技士への業務の移管や共同化に係る意向調査

＜ご回答される医師、看護師の皆様＞

- 医師の働き方改革等の医療提供体制の改革の議論が行われている中、2024年4月からの医師の時間外労働の上限規制の適用に向け、医師の労働時間短縮を進めていく必要があり、その具体的方向性の一つとして、多職種の医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化（タスク・シフティング、タスク・シェアリング）が掲げられており、医療専門職それぞれが自らの能力を活かし、より能動的に対応できる仕組みを整えていくため、厚生労働省の検討会において、タスク・シフト/シェアを進めていく上での具体的検討が行われています。
- このような状況の中、本厚生労働科学研究班では、タスク・シフト/シェアが検討されている行為について、安全かつ適切な実施体制を確保する観点から、既に業務として行為を行っている医師、看護師の方々のお考えを踏まえたうえで教育・研修を実施すべく、患者接遇や職種間連携、医療安全等の押さえるべき要点を明らかにすることを目的とした調査を実施することといたしました。
- 本調査のデータは、個人及び医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、個人・施設が識別されない形にて、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。
- 本調査結果は、タスク・シフト/シェアをすることとなる対象職種の研修内容へ反映させることを予定しており、今後の医師、看護師の働き方や職種間連携等について検討する上で資料として活用されることが期待されております。このような調査の趣旨を踏まえ、皆様方におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。なお、本調査の受付・集計等はPwCコンサルティング合同会社に委託していたします。
- 本調査は、8月28日（金）までにご回答ください。

調査専用URL：<https://forms.gle/CkHv9czh8XzxHkMz5>

お問い合わせ先（調査事務局）：manabu.yamazaki@pwc.com

右のQRコードからスマホによる回答も可能です。



令和2年度「診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士の業務範囲拡大のための有資格者研修の確立及び学校養成所教育カリキュラム見直しに向けた研究」

主任研究者 北村聖（公益社団法人地域医療振興協会 地域医療研究所）

**厚生労働行政推進調査事業
（厚生労働科学特別研究事業）**

問1 ご回答者本人の情報についてお答えください。（令和2年8月1日現在）

① 年齢		歳
② 性別	1. 男性 2. 女性	
③ 職種	1. 医師 2. 看護師	
④ 主たる勤務先の種別 1. 病院（大学病院以外） 3. 有床診療所 5. 介護老人保健施設 2. 病院（大学病院） 4. 無床診療所 6. 介護医療院・介護療養型医療施設		
⑤ 主たる診療科 ※ 主に従事する診療科を選択 ※ 臨床研修中の医師は20を選択 ※ 身体や臓器等を含む診療科(〇〇内科や△△外科など)を主たる診療科としている場合は、1内科や2外科を選択 1. 内科 2. 外科 3. 小児科 4. 産婦人科 5. 精神科 6. 皮膚科 7. 眼科 8. 耳鼻咽喉科 9. 泌尿器科 10. 整形外科 11. 脳神経外科 12. 形成外科 13. 救急科 14. 麻酔科 15. 放射線科 16. リハビリテーション科 17. 病理診断科 18. 臨床検査科 19. 総合診療科 20. 臨床研修 21. その他 ◆下枠に選択肢番号を入力してください。		

問2 現在、**臨床工学技士**が担う業務の範囲について検討が行われています。

実際に各職種に業務をかわりに担っていただく、又はフォローしていただく際に、ア. 研修会での教育内容として必要となる事項、イ. 実践上留意する必要があると考えられる内容のそれぞれについてご自由にお考えをご記入ください。

※ご回答にあたっては、「1.なし」又は「2.あり」のいずれかの番号を緑のセルに入力いただき、「2.あり」を選択された場合は、オレンジのセルに「具体的内容」を入力ください。

- ① 対象となる業務：手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するために静脈路を確保し、それらに接続する行為

ア. 研修会での教育内容として必要となる事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。
例：末梢静脈の解剖、有害事象、医療安全、手技

イ. 実践する上で留意する事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。

- ② 対象となる業務：手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、輸液ポンプやシリンジポンプを用いて薬剤を投与する行為

ア. 研修会での教育内容として必要となる事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。
例：使用薬剤の薬理と有害事象、医療安全、手技

イ. 実践する上で留意する事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。

- ③ 対象となる業務：手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路を抜針及び止血する行為

ア. 研修会での教育内容として必要となる事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。
例：医療安全、手技

イ. 実践する上で留意する事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。

- ④ 対象となる業務：血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の動脈表在化への接続又は動脈表在化からの除去

ア. 研修会での教育内容として必要となる事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。
例：動脈表在化の特徴と取扱いの注意、医療安全、手技

イ. 実践する上で留意する事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。

- ⑤ 対象となる業務：心・血管カテーテル治療において、生命維持管理装置を使用して行う治療に関連する業務として、身体に電氣的負荷を与えるために、当該負荷装置を操作する行為

ア. 研修会での教育内容として必要となる事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。

例：心・血管カテーテル治療の概要、関連装置の原理・構造・使用方法の知識、医療安全、手技

イ. 実践する上で留意する事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。

《下記の業務については医師の方のみご回答ください》

- ⑥ 対象となる業務：手術室で行う鏡視下手術において、体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラを保持する行為、術野視野を確保するために内視鏡用ビデオカメラを操作する行為

ア. 研修会での教育内容として必要となる事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。

例：内視鏡手術用装置の原理・構造・使用方法の知識、医療安全、手技

イ. 実践する上で留意する事項

1. なし【現在の職能で十分対応可能】
2. あり

「2. あり」の場合、具体的内容を以下にご記入ください。

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。